

成人を祝う詞

教育長 加藤 武明

輝かしい希望に照り映えて本年この成人の日を迎える昭和三十一年の新春、ここに終戦から十一回目の年を記念した。この佳き日に成人になられた町内の方々に、誠に感慨無量のものがあると思ひます。町におきましても、国民の祝日としての成人の日を迎え、毎年一月十五日に新しき成人に達せられた青年男女に、成人証書を授け、若人の社会への前途を祝福し、新日本建設者としての責任と自覚を与えるため、一月十五日成人証書授与式を厳粛に行うことになつております。

この意味から云つても、この日はただ単に皆さんが二十才に達したという今の成長を祝福するに止まらず、皆さんが真に人間として自己の権利義務を社会に向つて果敢と云う確固たる自覚を深め、もつて新しい人生の門出をし、新しい社会人として公認される日であります。ふりかえつて見ますと過去十年余り、私達の社会は殆んど説明出来ないような政治の混乱と経済の貧困に苦しみあへ、で来たのであります。その現況を見つめるとき祖国を愛する私達にとつて、真に憂慮にたえないものがあつますが、この交歓する状態下にあつては、皆さんが最早、一部

落一町村の青年であること、固たる自覚を深め、もつて新しい人生の門出をし、新しい社会人として公認される日であります。ふりかえつて見ますと過去十年余り、私達の社会は殆んど説明出来ないような政治の混乱と経済の貧困に苦しみあへ、で来たのであります。その現況を見つめるとき祖国を愛する私達にとつて、真に憂慮にたえないものがあつますが、この交歓する状態下にあつては、皆さんが最早、一部

お正月の遊び方いろいろ

みんな揃つてお正月を
楽しく過しませう

方陣遊び

問題

1	2	3
4	5	6
7	8	9

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	32	33	34	35
36	37	38	39	40	41	42
43	44	45	46	47	48	49

この遊びの名は今から二千年あまり前にギリシアの哲学者ピタゴラスと云う人が、發明したと伝えられる方陣に因んで附けた名です。鉄砲のなかつた昔は、騎兵が突撃してくることは歩兵にとつて何よりも恐ろしいことでした。そこでもし騎兵がやってくるような様子があれば、真四角に並んで、真ん中は空の方陣を作つて備えたものさうです。

相手の年令をあてる遊び

ア	イ	ウ	エ	オ
1 3 5 7 9	2 3 6 7 10	4 6 7 12 13	8 9 10 11 12	16 17 18 19 20
11 13 15 17 19	11 14 15 18 19	14 15 20 21 22	13 14 15 24 25	21 22 23 24 25
21 23 25 27 29	22 23 26 27 30	23 28 29 30	26 27 28 29 30	26 27 28 29 30

この表は三十才以下の人の年令なら自由で誰でもあてることが出来ます。あてる方法は次の通りです。

密造酒の利用をやめましょう

密造酒の全国推定量は石数にしてなんと百三十万石これに対する酒税の脱税額は二百十六億円で云々膨大な額になるそうです。これは国家の財政上から見ても申々しい問題です。

室内での遊び

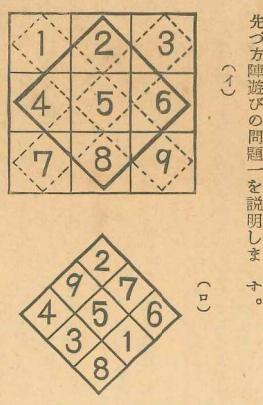
方陣遊びにあいたら、こんな遊びも面白いと思います。

キヤラメル狭み

準備するもの
キヤラメル大箱二ヶか
三ヶ位、半紙、二〜三枚、それになるべく長い箸を二本準備します。

遊びの方法
準備したキヤラメルを箱から出して、机の上等に半紙を敷き、その上に山になるように積み重ねます。キヤラメルは一つ／＼重ねて石垣のようにしてもよいし、ただ無暗に積み

方陣の作り方



先づ方陣遊びの問題一を説明します。先づ相手の人に、その年令の数字がアイウエオ五行のうちどの行にあるかをたずねます。そしてその行の一番上の数字を合計すれば相手の年令が当てられます。注意、また三十才以上のものを作ることも容易です。先づ三十一を作ろうとすれば全部の行の下に三十一の数字を書いておきます。三十二以上なら更に二行を増してカを行を入れます。

針の穴通し競走

準備
木綿針数本と糸を準備します。

方法
人数は何人もかまいません。くじ引きで二人づゝの組合せを作ります。そして穴を通すと針を持つ一人は反対側並びます。「よいい始め」の号全で糸を持つている人は急いで、自分の組の針を持つている人の前に行き、大急ぎで針の穴を糸を通してあげます。

注意
審番は持つて来た針の始末を忘れないように注意下さい。

年始の虚禮を廢止させよう

- ▲元日には家毎に国旗を掲揚させよう。
- ▲門松は必ず小枝を利用させよう。
- ▲新年宜會はなるべく簡素にさせよう。
- ▲お正月の料理は質素なものにせよう。
- ▲贈答品は出来るだけ簡単にせよう。
- ▲暴飲暴食をさげ、節酒につとめよう。
- ▲七草祝はなるべく着物の新調はやめて、簡素なものにせよう。
- ▲年末年始を機会によい躰をして子供の幸福を祈りませう。